

# 経 済 学 部

## 〔理 念〕

経済学を体系的かつ実践的に教育・研究し、地域社会及び国際社会に積極的に関与する強い意欲を有し、人類文化の発展に寄与する人材を育成することを目的とします。

## 〔教育方針〕

経済学部は経済社会に対する強い関心を持ち、経済学の理論と幅広い知識並びに教養を有し、地域社会及び国際社会に貢献しうる人材の育成を目指します。また、経済学の学問的基礎に基づいて現実の経済の動向を把握すると共に、バランス感覚に優れた物の見方・考え方のできる人材の育成を目指します。

## 〔アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）〕

経済学部は本学の建学の精神である「学問による人間形成」をバックボーンとし、地域社会及び国際社会に貢献しうる能力の獲得を目指す人材を求めます。

具体的には

- (1) 経済学を真剣に学び、現在の地域社会が抱えている問題を正しく理解し、その解決を求めて学ぼうとする意欲にあふれた人材を求めます。
- (2) 経済社会の問題を分析するために必要な基礎学力の習得に熱心な人材を求めます。
- (3) グローバルな視点に立った物の見方・考え方ができ、日本や世界の諸問題の解決に取り組む意欲のある人材を求めます。
- (4) 論理的な物の見方・考え方に興味を持ち、専門的な能力の習得に意欲を持つ人材を求めます。

## 〔カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）〕

経済学部は世界と日本の経済の仕組みやその動向を理解し、分析する能力を身に付け、地域社会及び国際社会に貢献することを目標とした教育課程を編成しています。そのために教養科目・外国語科目・経済学に関する基礎科目・並びに専門科目をバランスよく各学年に配置してあります。また、学生の将来の進路の道しるべとして「**アジア・国際経済コース**」「**産業・企業経済コース**」「**金融・証券経済コース**」「**地域・環境経済コース**」の4つのコースを設定してあります。経済学の体系的理解のため、基礎から応用へ段階的に学べるような教育課程を編成しています。

## 〔ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）〕

経済学部において学んだ学生は一般教養、語学、情報処理、経済学に関する幅広い知識と理解力を備えていることを目標とします。

具体的には

- (1) 一般教養、外国語、情報処理などにおける基礎学力と幅広い教養を身に着けていること。
- (2) 経済学を中心とする社会科学の基礎知識を身に着けていること。
- (3) 経済学の知識と論理的思考によって変化する社会を適切に分析・理解できる素養を身に着けていること。
- (4) 地域社会及び国際社会の諸問題を適切に把握し、社会の一員として内外で活躍できる能力を身に着けていること。